



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年7月31日

上場会社名 株式会社 J A L U X 上場取引所 東
 コード番号 2729 URL <https://www.jalux.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 込山 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 森泉 洋介 TEL 03-6367-8822
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	42,996	20.3	1,256	37.4	1,298	23.1	766	13.7
30年3月期第1四半期	35,726	7.3	914	23.7	1,054	40.9	674	58.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 834百万円 (22.0%) 30年3月期第1四半期 683百万円 (348.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	60.62	—
30年3月期第1四半期	53.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	51,737	23,516	42.5
30年3月期	49,013	23,634	44.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 21,969百万円 30年3月期 21,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	4.3	5,000	6.2	5,500	6.5	3,000	11.4	237.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	12,775,000株	30年3月期	12,775,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	131,339株	30年3月期	131,298株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	12,643,696株	30年3月期1Q	12,643,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外情勢の先行き懸念などがあるものの、企業収益や雇用環境の改善に加え、インバウンド需要の伸長を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境の下、当社グループの事業概況は、以下のとおりとなりました。

売上高は、主に航空機エンジン部品販売、空港店舗及び免税事業の増収などにより、前年同期比7,269百万円増の42,996百万円(120.3%)となりました。売上総利益は、売上高の増加により、前年同期比831百万円増の6,592百万円(114.4%)となりました。

販売費及び一般管理費は、人件費の増加や空港店舗・免税店舗の売上増に伴う歩合家賃の増加などにより、前年同期比489百万円増となりました。

営業外収益・営業外費用は、為替差損が増加しました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比92百万円増の766百万円(113.7%)となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成29年4～6月)	当第1四半期 (平成30年4～6月)	前年同期比(%)	前年同期差
売上高	35,726	42,996	120.3	7,269
売上総利益	5,761	6,592	114.4	831
営業利益	914	1,256	137.4	341
経常利益	1,054	1,298	123.1	243
親会社株主に帰属する 四半期純利益	674	766	113.7	92

[セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。各業績数値は、セグメント間の内部売上高及び振替高、配賦不能営業費用(管理部門の費用等)調整前の金額です。

① 航空・空港関連事業

当セグメントでは、主に航空機関連での航空機や航空機部品などの販売、機材関連での空港特殊車両や整備用機材などの販売、航空機エンジンリース事業、海外空港の運営受託などを行っています。

航空・空港関連は、主力である重工業向け航空機エンジン部品などの販売が増加したほか、海外(シンガポール)における航空機エンジンリース事業が拡大したことなどにより、増収増益となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高19,295百万円、営業利益349百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

航空・空港関連事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成29年4～6月)	当第1四半期 (平成30年4～6月)	前年同期比(%)	前年同期差
売上高	14,196	19,295	135.9	5,099
営業利益	188	349	185.0	160

② ライフサービス事業

当セグメントでは、主に不動産関連での不動産販売・分譲・仲介・賃貸、施設管理、介護関連施設の運営事業、保険関連での損害・生命保険の保険代理店業、機械・資材関連での特殊車両や印刷・用紙・包材などの販売、環境関連での道路関連資機材の販売などを行っています。

不動産関連は、国内不動産販売が減少したほか、海外（タイ）におけるサービス付アパートメントの運営費用が増加したことなどにより、減収減益となりました。保険関連は、保険代理店BPO事業*の拡大により、増収増益となりました。環境関連は、道路関連資機材の販売が増加しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高2,843百万円、営業利益192百万円となり、前年同期比、増収・減益となりました。

*保険代理店BPO（Business Process Outsourcing）事業：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務（契約手続きやコールセンター業務など）の一部を受託する事業

ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成29年4～6月)	当第1四半期 (平成30年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	2,723	2,843	104.4	119
営業利益	250	192	76.6	△58

③ リテール事業

当セグメントでは、主に空港店舗事業、空港免税店舗事業、免税店舗向け卸販売、通信販売、贈答用食品販売、外食業などを行っています。

国内空港店舗「BLUE SKY」は、航空旅客数の増加などにより、増収増益となりました。国内空港免税店舗（成田空港・羽田空港）及び免税店舗向け卸販売は、訪日外国人数の増加などにより、増収増益となりました。また、海外空港免税店舗（ベトナム ハノイ空港・ダナン空港）は、増収増益となりました。通信販売は、新システムへの移行が遅延した影響などにより、減収減益となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高15,102百万円、営業利益935百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成29年4～6月)	当第1四半期 (平成30年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	12,595	15,102	119.9	2,507
営業利益	620	935	150.8	315

④ フーズ・ビバレッジ事業

当セグメントでは、主に水産物、農産物、ワイン、加工食品の販売などを行っています。

水産物は、一部商品の取引形態変更に伴い、減収減益となりました。農産物は、国産野菜の供給増による輸入野菜の需要減などにより、減収減益となりました。ワインは、ブランド力のあるワインを中心としたホテル・レストラン及び小売業向け卸販売が増加しました。加工食品は、弁当類及び当社オリジナル菓子類の公共交通施設向け卸販売などが増加しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高6,046百万円、営業利益265百万円となり、前年同期比、減収・減益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成29年4～6月)	当第1四半期 (平成30年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	6,474	6,046	93.4	△428
営業利益	291	265	91.0	△26

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

中期経営計画達成に向けた重点施策の一つである航空機部品事業の取引が増加したことにより、売上債権が増加しました。一方で、たな卸資産が減少しました。

その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して2,724百万円増加し、51,737百万円になりました。

(負債)

法人税等の支払い、長期借入金の返済を行いました。一方で、航空機部品事業の仕入債務が増加しました。

その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して2,842百万円増加し、28,221百万円になりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、利益剰余金が増加しました。

一方で、為替の変動により為替換算調整勘定が減少しました。また、非支配株主持分が減少しました。

その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して118百万円減少し、23,516百万円になりました。

また、自己資本比率は2.3ポイント減少し、42.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,027,362	5,768,382
受取手形及び売掛金	15,452,147	19,730,665
たな卸資産	13,181,691	12,248,368
その他	3,908,424	3,960,784
貸倒引当金	△24,468	△25,066
流動資産合計	38,545,156	41,683,134
固定資産		
有形固定資産	4,735,748	4,486,297
無形固定資産	459,148	480,726
投資その他の資産		
その他	5,298,012	5,111,936
貸倒引当金	△24,634	△24,505
投資その他の資産合計	5,273,378	5,087,430
固定資産合計	10,468,276	10,054,455
資産合計	49,013,432	51,737,589
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,362,733	14,259,686
短期借入金	2,094,859	2,096,637
未払法人税等	1,005,360	338,497
未払費用	3,825,901	4,593,112
その他	2,718,159	3,228,901
流動負債合計	21,007,014	24,516,834
固定負債		
長期借入金	3,413,658	2,955,281
退職給付に係る負債	39,177	38,316
その他	919,045	711,150
固定負債合計	4,371,882	3,704,747
負債合計	25,378,896	28,221,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	688,723	688,723
利益剰余金	19,191,298	19,261,987
自己株式	△134,809	△134,936
株主資本合計	22,303,762	22,374,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,679	17,843
繰延ヘッジ損益	△67,321	23,091
為替換算調整勘定	△260,703	△421,990
退職給付に係る調整累計額	△29,217	△24,144
その他の包括利益累計額合計	△335,563	△405,200
非支配株主持分	1,666,337	1,546,882
純資産合計	23,634,536	23,516,007
負債純資産合計	49,013,432	51,737,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	35,726,306	42,996,047
売上原価	29,964,695	36,403,410
売上総利益	5,761,611	6,592,636
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	383,013	409,537
給料及び手当	1,685,942	1,823,419
退職給付費用	61,206	63,790
減価償却費	116,897	109,637
貸倒引当金繰入額	△745	1,637
賃借料	1,015,290	1,172,880
その他	1,585,172	1,754,978
販売費及び一般管理費合計	4,846,777	5,335,883
営業利益	914,833	1,256,753
営業外収益		
受取利息	2,192	2,321
受取配当金	22,309	15,625
持分法による投資利益	115,177	101,518
為替差益	2,368	-
その他	23,907	12,068
営業外収益合計	165,954	131,532
営業外費用		
支払利息	19,821	30,841
支払手数料	1,232	1,109
為替差損	-	57,455
その他	5,407	763
営業外費用合計	26,462	90,170
経常利益	1,054,326	1,298,115
特別利益		
固定資産売却益	269	871
特別利益合計	269	871
特別損失		
固定資産処分損	109	3,210
特別損失合計	109	3,210
税金等調整前四半期純利益	1,054,486	1,295,776
法人税等	301,936	382,661
四半期純利益	752,550	913,114
非支配株主に帰属する四半期純利益	78,485	146,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	674,064	766,521

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	752,550	913,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,581	△3,602
繰延ヘッジ損益	1,307	90,413
為替換算調整勘定	△94,530	△156,456
退職給付に係る調整額	3,897	5,073
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,909	△13,928
その他の包括利益合計	△68,653	△78,501
四半期包括利益	683,896	834,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608,677	696,884
非支配株主に係る四半期包括利益	75,218	137,728

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,189,372	2,688,055	12,581,014	6,267,864	35,726,306	—	35,726,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,815	35,685	14,027	207,105	263,633	△263,633	—
計	14,196,187	2,723,740	12,595,042	6,474,969	35,989,940	△263,633	35,726,306
セグメント利益	188,898	250,865	620,760	291,936	1,352,460	△437,627	914,833

(注) 1. セグメント利益の調整額△437,627千円には、セグメント間取引消去9,173千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△446,800千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,295,374	2,807,457	15,085,360	5,807,853	42,996,047	—	42,996,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	330	35,685	17,558	238,187	291,763	△291,763	—
計	19,295,705	2,843,143	15,102,919	6,046,041	43,287,810	△291,763	42,996,047
セグメント利益	349,541	192,127	935,807	265,741	1,743,217	△486,464	1,256,753

(注) 1. セグメント利益の調整額△486,464千円には、セグメント間取引消去1,106千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△487,571千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。